

認知症の人と家族の会愛媛支部の中予地区「つどい」は毎月第2月曜日午後1時～3時、場所は松山市末町甲9-1「愛媛県在宅介護研修センター」で行っています。他にも東予地区4カ所、南予地区で2カ所あります。電話相談も月一金午前10時から午後4時でしています。電話番号は、089-923-3760です。

認知症と家族の会のつどいに関しては、上記相談電話にお問い合わせください。



認知症疾患医療センターの活動

砥部病院認知症疾患医療センターでは、当院西隣介護付有料老人ホーム To-be 1階「タヤケこやけ」で毎週金曜日午後1時半から2時半認知症カフェ「オレンジカフェ」を開催しています。第1金曜日は、ウクレレカフェ、第4金曜日は、家族のつどいをしています。第2水曜日に同じ場所、同じ時間で、若年性認知症の方対象で当事者カフェ「おれんじドア えひめ（べにまどんな）」を開催しています。恐れ入りますが、利用希望時はお電話をください。感染警戒期となりましたが、利用ご希望がない折は閉店しています。

令和5年3月は、10日当院の連携協議会をしました。

11日愛媛大学認知症疾患医療センター連携協議会に参加しました。その他、砥部町や松山市の各種会議に参加しました。2月16日HITO病院にて、IHGみかんの会主催「認知症になっても住みやすいまち、地域で寄り添うこと」と題して、中城有喜センター長が講演をしました。80人の参加者の方からの10個の質問に中城センター長が回答しています。



Q2.認知症はなっても治りますか？

A2.認知症は病名ではなく状態像です。認知症は脳のはたらきが衰えて、日常生活に支障をきたした状態を言います。認知症を呈する病気は70種類以上あります。そのうちの10%は早期に適切な治療を受ければ治ると言われています。残り90%は残念ながら治ることは困難ですが、病気の進行を止めたり、進行の速度を緩やかにすることができます。認知症の心理・行動障害やせん妄といった症状は治療可能です。加えて、認知症になっても、環境を整え、知恵と工夫をすれば自分らしく、楽しく生活することも可能です。



では来月もQ&Aをご紹介します。



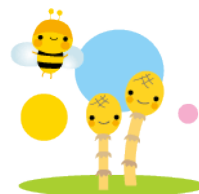
砥部病院面会について

令和5年4月1日より3月20日から感染警戒期間に移行したのに伴い、センター内の感染対策ルールにのっとり、面会を再開致しました。相談員に面会予約・ご相談をお願い致します。



高齢者こころのケアセンター(認知症病棟)の近況

3月は、お天気の良い日は、病院隣理事長宅内のお庭の梅見、差し入れてもらったつくしのはかまとり、書道、ひな祭り、カラオケ、オンライン勉強会の視聴などをしました。



くまのつぶやき

令和3年3月に植えた陽光桜がすくすくと大きくなり、立派に咲きました。

砥部病院高齢者こころのケアセンター 相談室(文責 武田)

相談員: 青木(176)・中平(512)・武田(516)・菊地(517)

お気づきの点がありましたら、ご連絡ください

